

## 滋賀県の防災教育について(参考資料)

1	滋賀県防災対策の推進に関する条例における防災教育に関連する条文	…P1
2	第2次滋賀県防災プランにおける防災教育に関連する箇所	…P2
3	防災カフェ(第1回~第110回)実施内容一覧表	…P3
4	しがマイ・タイムライン 概要	…P6
5	しが防災フェア2025 実績	…P7

---

### 1 滋賀県防災対策の推進に関する条例における防災教育に関連する条文

(防災教育および防災訓練の実施等)

第8条 県は、県民の防災に関する知識および技能の習得を促進するため、防災教育および防災訓練の実施、県等が実施する防災に関する講習および防災訓練への参加の促進その他の必要な措置を講ずるものとする。

2 県民は、防災に関する知識および技能を習得するため、県等が実施する防災に関する講習を受けるとともに、県等が実施する防災訓練に参加するよう努めるものとする。

3 自主防災組織は、地域住民に対して防災教育および防災訓練を実施するよう努めるものとする。

4 事業者は、従業員に対して防災教育および防災訓練を実施するよう努めるものとする。

## 2 第2次滋賀県防災プランにおける防災教育に関連する箇所

### 実行1 生き延びるための事前防災

#### (1) 生き延びるための自助の推進～県民に寄り添ったリスク情報の発信～

#### ④防災教育の推進

担当:防災危機管理局  
流域政策局  
保健体育課 他

#### 【課題】

県民に、水害・土砂災害情報の把握や、正しい理解により、いざという時に迅速かつ適切な避難行動につなげることが重要である。また、本県の防災教育実施率は全国平均を下回っているため、市町や学校への防災教育の指導を行うとともに、保護者や地域と連携し、様々な設定での避難訓練を増やすための啓発が必要である。将来世代への防災教育は重要であり、教員への支援を通じて学校での防災教育を推進・充実させることが求められている。

#### 『取組目標:教員向けの研修会を毎年度開催し、取組事例を共有する』

#### <取組内容>

- 水害・土砂災害リスク等をより分かりやすく伝え、住民の理解を促進するために出前講座を実施する。
- 「滋賀県学校防災手引き」を活用した防災教育の展開を促す。
- 研修会で防災教育拠点校の取組や地域防災の在り方、避難訓練の工夫について講習する。
- 防災教育に関する指導案を作成し、これを用いた教員向け研修会を実施する。
- 社会科や理科などの授業で活用できる滋賀県のリスク情報や災害履歴等にかかる素材について、学校教育担当課と連携し、研修会等を通じて教員に提供する。
- 学生や若者の防災士等の交流の場を設け、防災活動の担い手としての意識を醸成する。

#### ●年次計画

R7	R8	R9	R10	R11
(1) 生き延びるための自助の推進 ～県民に寄り添ったリスク情報の発信～				
防災教育の推進				
		出前講座の実施		
		拠点校への指導、手引き活用、研修会の開催		
	指導案の作成			
		拠点校を中心とした防災教育の横展開		
		教員向け研修会の実施		
		学生や若者の防災士等の交流の機会創出		

### 3 防災カフェ（第1回～第110回）実施内容一覧表

回	開催日	テーマ	ゲスト	氏名 (敬称略)	ファシリテータ	氏名 (敬称略)
1	H28. 6. 21(火)	滋賀の水災害について考えよう	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
2	H28. 7. 21(木)	土砂災害のおそろしさ	立命館大学	藤本 将光	立命館大学	深川 良一
3	H28. 8. 25(木)	災害時の緊急医療	滋賀医科大学	田畑 貴久	滋賀県職員	角野 文彦
4	H28. 9. 16(金)	地震はなぜ起きるか？～知ることを通して適切に恐れる～	立命館大学	川方 裕則	立命館大学	深川 良一
5	H28. 10. 17(月)	建物の地震災害	立命館大学	吉富 信太	立命館大学	深川 良一
6	H28. 11. 10(木)	美しい橋、強い橋	立命館大学	伊津野和行	立命館大学	深川 良一
7	H28. 12. 17(月)	歴史と文化を災害から守るために	立命館大学	大窪 健之	立命館大学	深川 良一
8	H29. 1. 17(火)	地震災害と身近な防災対策～正しく知って、正しく備えるために	滋賀県職員	石黒 達也	滋賀県職員	渡辺 正人
9	H29. 2. 17(金)	災害を生きる力「防災リテラシー」を高めよう	同志社大学	川見 文紀 齋 瑋	同志社大学	立木 茂雄
10	H29. 3. 16(木)	災害報道	NHK大津放送局	丹羽 尋人	NHK大津放送局	吉岡 大輔
11	H29. 4. 18(火)	想定外の豪雨が引き起こす洪水に備える	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
12	H29. 5. 18(木)	多発する土砂災害	立命館大学	藤本 将光	立命館大学	深川 良一
13	H29. 6. 13(火)	地盤リスクを知り、災害から身を守る	立命館大学	小林 泰三	立命館大学	深川 良一
14	H29. 7. 7(金)	前震・本震・余震とは何か	立命館大学	川方 裕則	立命館大学	深川 良一
15	H29. 8. 24(木)	気象災害とその予報	彦根気象台	加藤 真司	彦根気象台	金田 芳彦
16	H29. 9. 26(火)	建築物の耐震	立命館大学	吉富 信太	立命館大学	深川 良一
17	H29. 10. 26(木)	構造物の耐震設計とは	立命館大学	伊津野和行	立命館大学	深川 良一
18	H29. 11. 21(火)	インフラメンテナンスの必要性	立命館大学	川崎 佑磨	立命館大学	深川 良一
19	H29. 12. 20(水)	文化遺産の防災からわかること―清水寺周辺の災害と防災の取り組み―	立命館大学	大窪 健之	立命館大学	深川 良一
20	H30. 1. 18(木)	考えよう！住まいの耐震化	滋賀県職員	福井 嘉昭	滋賀県職員	櫻坂 和哉
21	H30. 2. 16(金)	命を守る「防災リテラシー」を高めるには	同志社大学	川見 文紀 奥村 知代	同志社大学	立木 茂雄
22	H30. 3. 8(木)	避難所での健康管理はどうするの？	滋賀県職員	福井美代子 妻石恵利子	滋賀県職員	角野 文彦
23	H30. 4. 18(水)	シリーズ“災害とライフライン”（1）電気はどうなるの？	関西電力株式会社	澤田 恵治	関西電力株式会社	川副 源
24	H30. 5. 25(金)	シリーズ“災害とライフライン”（2）都市ガスはどうなるの？	大阪ガス株式会社	岩佐 純	大阪ガス株式会社	巖釜 信一
25	H30. 6. 21(木)	シリーズ“災害とライフライン”（3）道路はどうなるの？	県土木交通部	久保 雅則	県土木交通部	福田 義弘
26	H30. 7. 12(木)	洪水時あなたはどう行動しますか？	県土木交通部流域政策局	先田 幸生	県土木交通部流域政策局	清水 司
27	H29. 8. 24(木)	シリーズ“災害とライフライン”（4）電話はどうなるの？	NTTフィールドテクノ	宮下 幹男	NTTフィールドテクノ	東 昭彦
28	H30. 9. 3(月)	シリーズ“あなたの住まいは大丈夫？”（1）滋賀で起きる土砂災害とは	立命館大学	藤本 将光	立命館大学	深川 良一
29	H30. 10. 15(月)	シリーズ“あなたの住まいは大丈夫？”（2）滋賀を襲う地震とは	立命館大学	川方 裕則	立命館大学	深川 良一
30	H30. 11. 12(月)	シリーズ“あなたの住まいは大丈夫？”（3）地震に強い建物とは	立命館大学	吉富 信太	立命館大学	深川 良一
36	H30. 11. 14(水)	水害から大切な命と財産を守るために 【高島市役所で実施】	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
31	H30. 12. 3(月)	シリーズ“あなたの住まいは大丈夫？”（4）滋賀で起きる『液状化災害』とは	立命館大学	深川 良一	立命館大学	里深 好文
32	H31. 1. 16(水)	原子力防災について ～放射線を知ろう！～	県総合政策部 防災危機管理局	柏 貴子	県総合政策部 防災危機管理局	前川 誠
33	H31. 2. 13(水)	西日本豪雨！なぜ人々は避難しなかったのか？	同志社大学	川見 文紀 藤本 慎也	同志社大学	立木 茂雄
34	H31. 3. 18(月)	シリーズ“災害とライフライン”（5）鉄道はどうなるの？	西日本旅客鉄道株式会社	小菅 謙一	西日本旅客鉄道株式会社	野口 明
35	H31. 4. 25(木)	被災者支援 これからの姿とは ～災害対策基本法から見た被災者支援～	関西大学	山崎 栄一	同志社大学	立木 茂雄
37	R元. 5. 14(火)	水害から大切な命と財産を守るために 【長浜市役所で実施】	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
38	R元. 6. 7(金)	地域放送を地域の防災につなげるために	NHK大津放送局	大山 武人	NHK大津放送局	三角 朋子
39	R元. 7. 11(木)	水害から大切な命と財産を守るために 【日野町で実施】	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
40	R元. 8. 22(木)	災害支援 これからの姿とは ～被災地に合ったボランティア支援～	災害NGO結～Yui～ 代表	前原 土武	県社会福祉協議会	高橋 宏和
41	R元. 9. 24(火)	水害から大切な命と財産を守るために 【愛荘町で実施】	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一

回	開催日	テーマ	ゲスト	氏名 (敬称略)	ファシリテータ	氏名 (敬称略)
42	R元. 10. 18(金)	災害にも強い地域づくりとは	佛光大学	後藤 至功	県社会福祉協議会	高橋 宏和
43	R元. 11. 20(水)	滋賀を襲う地震とは? ~適切に備えるために~【高島市で実施】	立命館大学	川方 裕則	立命館大学	里深 好文
44	R元. 12. 18(水)	災害時 ラジオができること ~滋賀県防災ラジオ協議会発足1年~	コミュニティFM	パーソナリ ティ	NHK大津放送局	大山 武人
45	R2. 1. 24(金)	水害から大切な命と財産を守るために 【甲賀市で実施】	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
46	R2. 6. 18(木)	コロナ禍でもできる水防災	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
47	R2. 6. 30(火)	誰ひとり取りのこさない防災	人と防災 同志社大学	松川 杏寧 辻岡 綾	同志社大学	立木 茂雄
48	R2. 8. 6(木)	避難所運営と新型コロナウイルス感染症対策	地震・危機管理室 主事	馬場 歩美	地震・危機管理室 主任主事	梅村 淳
49	R2. 8. 28(金)	身近な防災を地区防災計画につなげよう	防災士	久保 敏彦	-	-
50	R2. 9. 1(木)	ウイズ・コロナ時代の大雨避難 #生かせハザードマップ	京都大学 川辺復興プロジェク ト	矢守 克也 横原 聡美	NHK大津放送局	大山 武人
51	R2. 10. 27(火)	女性目線でチェック! 防災の“落とし穴”とひと工夫	NPO政策研究所	相川 康子	滋賀県理事員	勝身真理子
52	R2. 11. 19(木)	びわ湖と豪雨災害 ~ハザードマップをみてみよう~	県土木交通部	山田 千尋	県琵琶湖環境部	一伊達 哲
53	R2. 12. 22(火)	新型コロナウイルス感染症 ~滋賀の状況と対応~	県健康医療福祉部	切手 俊彦	県健康医療福祉部	角野 文彦
54	R3. 1. 21(木)	よりよい災害対応とは ~シミュレーションゲームで考える~	県地域防災アドバイ ザー	笠原 恒夫	県防災危機管理局	川田 幸寛
55	R3. 2. 10(水)	オーダーメイドの避難計画 ~要配慮者の個別支援計画について~	高島市コンパス 同志社大学	上田 洋行 辻岡 綾	同志社大学	立木 茂雄
56	R3. 3. 11(木)	滋賀の風景と自然災害(1)~滋賀の地震災害~	龍谷大学	中島 健	彦根東高校	岡田 浩二
57	R3. 4. 13(火)	滋賀の風景と自然災害(2)~風水害・土砂災害~	龍谷大学	中島 健	彦根東高校	岡田 浩二
58	R3. 5. 30(日)	みんなで考えよう!大雨から命を守る行動とは? ~“しがマイ・タイムライン”体験ワークショップ~	京都大学	矢守 克也	NHK大津放送局	大山 武人
59	R3. 6. 11(金)	防災意識の向上へ向けて~「実践的防災」から「お手軽防災」まで~	立命館大学	豊田 祐輔	立命館大学	里深 好文
60	R3. 7. 21(水)	災害から建物を守るために~地震被害と耐震補強~	立命館大学	吉富 信太	立命館大学	里深 好文
61	R3. 9. 22(水)	雲を愛する技術 大雨への備え	気象庁気象研究所 彦根地方気象台	荒木健太郎 小野 善文	-	-
62	R3. 10. 12(火)	女性目線でチェック!第2弾 コロナ禍の今こそ災害対応を見直そう	NPO政策研究所	相川 康子	ミューズストリーム (μ stream) 代表	勝身真理子
63	R3. 11. 12(金)	水害から大切な命と財産を守るために	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
64	R3. 12. 13(月)	今年の被災地を振り返る~被災地でのボランティア活動の最新レポート~	災害NGO結~Yui~ 代表	前原 土武	災害NGO結~Yui~ 事務局	西谷明日希
65	R4. 1. 21(金)	滋賀県の震災リスク ~地震に対して適切にそなえることで未来の滋賀大震災をなくそう~	滋賀県立大学	小泉 尚嗣	立命館大学	里深 好文
66	R4. 2. 24(木)	都市ガスと災害への対応 ~都市ガスの防災対策の最前線と災害時に役立つクッキングレシビ~	大阪ガス株式会社	中村 哲	大阪ガス株式会社	北村 衣江
67	R4. 3. 25(金)	自分を守る防災 ~素人のままやり続ける意味~	南草津マンション防 災委員会代表	江藤 沙織	オフィスびわこ代表	森田 紀美
68	R4. 4. 18(月)	心のケアと一体的に進める防災教育 ~阪神・淡路大震災から始まった防災教育・心のケアと国内外への広がり~	兵庫県立大学	諏訪 清二	京都大学防災研究所	中野 元太
69	R4. 5. 27(金)	梅雨に備える水害復旧の知識 ~風水害が一番多い夏前に備える防災~	災害NGO結~Yui~ 代表	前原 土武	災害NGO結~Yui~	西谷 明日希
70	R4. 6. 29(水)	雨がもたらす恵みと災い ~「地先の安全度」マップから読み解く~	滋賀県立大学	瀧 健太郎	県健康医療福祉部	一伊達 哲
71	R4. 7. 21(木)	滋賀県の地形と地質を考える ~自然災害の対策にはまず地形地質の理解から~	琵琶湖博物館	里口 保文	龍谷大学	中島 健
72	R4. 8. 22(月)	びわ湖わんにゃんマルシェが届けるベットの防災 ~人と動物が心身ともに豊かに暮らせるまちづくりを創出する~	びわ湖わんにゃんマ ルシェ実行委員会会 長	川口 ひとみ	たがトコRadio パーソナリティ	小島 櫻
73	R4. 9. 29(木)	もしも原発事故が起きたら ~福島県のあるお宅を見つめ続けて学んだこと~	京都大学	角山 雄一	県防災危機管理局 原子力防災室	柏 貴子
74	R4. 10. 20(木)	地震に負けない建物を考える ~敵(地震)を知り、己(建物・わが家)を知れば、百戦危うからず~	滋賀県立大学	高田 豊文	立命館大学	吉富 信太
75	R4. 11. 24(木)	雪に埋もれた湖国 ~令和3年12月26日から28日の大雪~	彦根地方気象台	小野 善史 田中 滋司 石谷 洋基	彦根地方気象台	大溝 英哉
76	R5. 2. 28(火)	大学生が考える「防災」~聖泉大学学生地域連携交流委員会の活動~	聖泉大学学生地域連 携交流委員会	聖泉大学の大学 生3名	聖泉大学地域連携交 流センター長	間 文彦
77	R4. 3. 20(月)	女性目線でチェック!第3弾~「しが防災プラスワン」を活用して~	NPO政策研究所	相川 康子	ミューズストリーム (μ stream) 代表	勝身真理子
78	R5. 4. 21(金)	地域での多文化共生防災を考える ~在住外国人を含めた防災訓練をやってみよう~	日本防災士会滋賀県 支部	浅井 華代	滋賀県国際協会	會田 真由美
79	R5. 5. 24(水)	水害から大切な命と財産を守るために	立命館大学	里深 好文	立命館大学	深川 良一
80	R5. 6. 12(月)	世界の災害と防災教育 ~世界の事例から日本での防災教育の可能性を考えよう~	京都大学防災研究所 巨大災害研究セン ター	中野 元太	兵庫県立大学	諏訪 清二

回	開催日	テーマ	ゲスト	氏名 (敬称略)	ファシリテータ	氏名 (敬称略)
81	R5. 7. 21(金)	ぼうさい BOUSAI 防災 ～なじめる防災への道～	NPO法人しがいち防災研究所	岩佐 卓實	ラジオパーソナリティー	増田 晶子
82	R5. 8. 9(水)	夏休みの自由研究をお手伝い マイ・タイムラインづくりに挑戦しよう！	県防災危機管理局	防災対策係		
83	R5. 9. 6(水)	災害対応の知は歴史のなかに ～史料、景観、古老のお話～	県立琵琶湖博物館	島本 多敬	京都大学大学院地球環境学堂	落合 知帆
84	R5. 10. 27(金)	文化財も防災する ～地域の復興を見据えた文化財防災を考える～	文化財防災センター	小谷 竜介	県文化財保護課	矢田 直樹
85	R5. 11. 10(金)	アレルギーと防災 ～災害時にアレルギーがあると何が困るのか～	LFA Japan	大森 真友子	LFA食物アレルギーと共に生きる会チーム 滋賀代表	足立 友香
86	R5. 12. 22(金)	考えよう！災害時のトイレ ～水洗トイレが使えなくなったとき、大切な人を守れますか？～	日本トイレ研究所	松本 彰人	県防災危機管理局	江波 維求
87	R6. 5. 22(水)	大雨への備え ～防災気象情報を上手く活用し、大雨等による災害へ備えよう～	彦根地方気象台	小菅 威 西村 映音	彦根地方気象台	小野 善史
88	R6. 6. 26(水)	地域で、地区防災計画 ～地区防災計画を、むずかしく考えていませんか？～	日本防災士会滋賀県支部長	久保 敏彦		
89	R6. 7. 26(金)	全国初、外国人機能別消防団員の可能性 ～支えられる側から支える側へ～	草津市国際交流協会副会長	中西 まり子	草津市国際交流協会	鶴田 真理子
90	R6. 8. 6(火)	夏休みの自由研究をお手伝い マイ・タイムラインづくりに挑戦しよう！	県防災危機管理局	防災対策係		
91	R6. 9. 13(金)	被災地での支援活動レポート ～避難所支援からの学び～	滋賀県職員	高木 和彦 竹内 雅美 大平 孟彦	県防災危機管理局	川田 幸寛
92	R6. 10. 23(水)	片付け防災 ～防災は楽しく始めるコツがある♪～	おもしろ防災アドバイザー	南 あきこ	びわ湖わんにゃんマルシェ実行委員会会長	川口 ひとみ
93	R6. 11. 13(水)	災害発生時における感染対策 ～避難所の感染対策の重要性と向上策～	県健康医療福祉部	横山 哲也 淡野 睦	県健康医療福祉部	西川 真介
94	R6. 12. 13(金)	災害時の医療 ～災害拠点病院とDMAT(災害派遣医療チーム)や日本赤十字社救護班などの役割～	大津赤十字病院	竹市 康裕	大津赤十字病院	石戸谷 哲
95	R7. 1. 24(金)	能登半島地震から読み解く災害時の備えと損害保険について ～滋賀県の特徴と自然災害について～	(株)アールエージェンシー	中村 隆宏	(株)三井住友海上火災保険	岡田 茉奈耶
96	R7. 2. 28(金)	滋賀県の地震活動と気象庁の地震情報について ～地震は事前の備えが重要です～	彦根地方気象台	小原 久典 奥田 隆一	彦根地方気象台	山本 雅樹
97	R7. 3. 7(金)	防災の輪を広げるために～えふえむ草津「ハッピーぼうさい」の挑戦～	関西大学 えふえむ草津 草津市危機管理課	西出 梨乃 橋倉 丈樹 大山 太陽 中髙 裕志 小川 冴子	関西大学	近藤 誠司
98	R7. 4. 24(木)	能登半島地震からの振り返り ～能登は社会課題の最前線～	災害NGO結～yui～	前原 土武	災害NGO結～yui～	西谷 明日希
99	R7. 5. 30(金)	できることからはじめよう 小さな流域治水 ～ネイチャーポジティブと水防災～	滋賀県立大学	瀧 健太郎	土木交通部	中西 宣敬
100	R7. 6. 20(金)	近江の自然環境・歴史景観から災害を考える ～滋賀県から発信する持続可能な社会のための防災・減災～	滋賀大学	藤岡 達也	東洋大学	大辻 永
101	R7. 8. 2(土)	古地図で昔の堤をさぐる ～琵琶湖博物館の企画展示から考える防災～	滋賀県立琵琶湖博物館	島本 多敬	防災危機管理局	山本 雅貴
102	R7. 8. 8(金)	夏休みの自由研究をお手伝い マイ・タイムラインづくりに挑戦しよう！	滋賀県防災危機管理局	防災企画係		
103	R7. 9. 5(金)	ベビー防災 ～命を守るケアに必要な「平素のそなえ」について考える～	ナーシングクリエイト株式会社	押栗 泰代	ナーシングクリエイト株式会社	押栗 良輔
104	R7. 10. 15(水)	備えと構えで減災目指す 楽しく共有、減災への意識と備え ～笑って減災 なまず流～	たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」	太田 直子 上原 初美	たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」	太田 吉宏
105	R7. 11. 14(金)	歩いて考えよう減災への道 ～昔の道と今の道…違いでわかる自然との向きあい方～	ジオサイエンスライター	中島 健	県立琵琶湖博物館	島本 多敬
106	R8. 1. 29(木)	女性の視点を取り入れた防災を考える ～地域の力をみんなで引き出そう～	日本防災士会滋賀県支部	大津ブロック：井内 律子 (ファシリテーター)、加藤 由利加、湖東ブロック：大宮 尚美、小野 夏珠乃		
107	R8. 2. 26(木)	気候変動(地球温暖化)と滋賀県への影響について ～地球温暖化は気温の上昇だけでは済まない～	彦根地方気象台	小林 俊彦	防災危機管理局	山本 雅貴
108	R8. 3. 12(木)	知ることから始まる「誰も取り残さない防災」 ～当事者家族のリアルが、備えのスイッチになる～	草津市危機管理課 南草津マンション防災委員会 チャレンジLIFE	津村 悠馬 江藤 沙織 miki	チャレンジLIFE	畠中 直美
109	R8. 4. 27(月)	防災マップで始める、わがまちの備え ～見て終わらせない、次の一歩へ～	立命館大学	豊田 祐輔	立命館大学	里深 好文
110	R8. 5月予定	スマホで防災 ～防災アプリで災害に備えよう～	県土整備部	津崎 慎也	県土整備部	中西 宣敬



## 5 しが防災フェア2025 実績

日時：令和7年8月8日（金）9～12時

場所：滋賀県危機管理センター

内容：将来を担う子どもを中心とした県民一人ひとりの防災意識を高め、災害時に自ら適切な行動がとれる「県民防災力」および共助による「地域防災力」の向上を図ることを目的とした子ども向けの防災イベント

対象：県内の小中学生および保護者

